

ナショナル・トラスト活動への休眠預金の活用についての検討のお願い ～優先的に解決すべき課題～

平成 29 年 6 月 19 日

公益社団法人 日本ナショナル・トラスト協会

会長 池谷奉文

※団体としての意見

自然環境の保全・再生、行政による対応の限界

日本では 20 世紀に自然環境が大きく損なわれました。現在は人口減少・高齢化が急速に進んでおり、自然環境の適切な保全・再生に必要な管理が困難になっています。自然環境は持続可能な国づくり・地域づくりに様々な効果を持つものであり、その保全・再生は優先的に解決すべき課題です。

この課題について、これまで行政において対応がなされてきた部分もあります。しかし、上述の経済社会情勢の急速な変化も加わり、行政の対応では解決がますます困難な状況となっています。

自然環境の保全・再生に向けたナショナル・トラスト活動の意義

～子どもや若者への支援、地域活性化等への支援～

この課題の解決に向けた自発的な活動に「ナショナル・トラスト活動」があります。これは、持続可能な国づくり・地域づくりのため、豊かな自然環境（私有地）を国民の財産として取得等して後世に継承するもので、行政の取組を補完する公益的な活動です。

トラスト活動によって、森や湿地、里山等の豊かな自然環境が適切に保全・再生され、各地で、子どもや若者への自然体験・環境教育の場の提供、コミュニティの強化、観光振興や都市・農村交流等を通じた地域の活性化に資する取組が行われています。

国内 50 以上の地域で活動するトラスト団体、活動の自立・発展が課題

現在、国内では 50 以上の地域で、NPO 法人等により、地域色豊かなトラスト活動が展開されています。団体の活動資金は、会費や寄付金、助成金等です。

(公社) 日本ナショナル・トラスト協会は、トラスト活動の全国組織として、各地のトラスト団体に対し様々な支援を行っています。しかし、自立した担い手の育成にまで支援が及んでおらず、多くの地域で活動の自立・発展が課題となっています。

活動の担い手の育成等、活動の自立・発展のための休眠預金活用による支援の必要

ファンドレイジング能力を持ち、外国資本による水源林取得や土地の所有者不明化という新たな問題にも対応でき、子ども・若者支援や地域活性化に自然環境を効果的に役立てる十分な能力を持つ人材の育成が、各地で課題となっています。

各地のトラスト活動の自立・発展に向けた休眠預金の活用について、ご検討の程何卒宜しくお願い申し上げます。